

とちぎ高等教育推進まちづくり会議 企画・事業部会

令和2年度 検討状況報告

I 取り組みの方向性

昨年度までに確認した本会議の取り組みの方向性は以下のとおり。
令和2年度は、「食品安全管理のスペシャリスト養成」の今後の推進体制の検討、「若者の地元定着と地域課題解決の促進」に関する取り組みを中心に進めた。

(1) 地域ぐるみの人材育成

- ① **食品安全管理のスペシャリスト養成★**
- ② 地域連携による国際水準の獣医師養成
- ③ アグリ・フードビジネスのマネジメント人材養成

(2) 人材活躍の場・環境づくり

- ① **若者の地元定着と地域課題解決の促進★**
- ② 人生100年時代を見据えた生涯学習の支援
- ③ 地域産業の活性化

Ⅱ 食品安全管理のスペシャリスト養成

■これまでの協議・取り組み経過

- | | |
|--------|--|
| 平成28年度 | <ul style="list-style-type: none">✓ 「地域発展に特に重要な人材像」について議論✓ 経営者ヒアリングの実施 |
| 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none">✓ 取り組みの方向性を整理
⇒ 「食品安全管理のスペシャリスト養成」✓ 食品安全管理のスペシャリスト人材養成に関する意見交換
(6回 メンバー：帯広畜産大学、とちち財団、帯広市) |
| 平成30年度 | <ul style="list-style-type: none">✓ 食品安全管理のスペシャリスト人材養成に関する意見交換
(6回)✓ HACCPに関する支援者・指導者等の育成のための研修 |
| 令和元年度 | <ul style="list-style-type: none">✓ 食品安全管理のスペシャリスト人材養成に関する意見交換
(7回)✓ 食品安全マネジメント教育機能の基盤強化に関する調査研究 |
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none">✓ 食品安全管理のスペシャリスト人材養成に関する地域の推進体制の検討 |

Ⅱ 食品安全管理のスペシャリスト養成

■ 食品安全マネジメント教育機能の基盤強化に関する調査研究 まとめと考察（概要）

HACCPが国際標準化する一方、
国内の大学における人材育成等の機能は限定的

食品安全に係る人材に対する企業ニーズは大きい

帯広畜産大学の有する優位性や可能性は大きい

Ⅱ 食品安全管理のスペシャリスト養成

■ 令和3年度以降について

大学院カリキュラムの継続実施

- ✓ 現在、大学院生カリキュラムとして実施している、食品安全に関する知識・技能、HACCPシステム構築等の研修を、令和3年度以降も実施予定。

3大学連携のリカレント教育等として、HACCP関連のプログラム実施を検討

- ✓ これまで社会人向けに実施してきたHACCP関連の研修を、経営統合後も、3大学が連携するリカレント教育として実施することを検討中。
- ✓ HACCP構築3日間研修、内部監査研修、GAP概論、総合的病害虫管理、農畜産業向けHACCP構築手法研修などを実施予定。

Ⅲ 若者の地元定着と地域課題解決の促進

■これまでの協議・取り組み経過

平成27年度～令和元年度 若者が牽引するしごとづくり・まちづくりプラン推進事業

目的

学生が主体となって地域のしごとづくり、まちづくりに貢献するための事業を帯広畜産大学と連携して推進し、地域産業の競争力強化、中心市街地活性化等の地域振興に資するとともに、学生の地域愛を醸成して大学卒業・大学院修了後も十勝・帯広の応援団として一層活躍できる地方創生循環モデルを構築する。

内容

- ① 地元企業と学生との共同研究を通じた地域産業強化支援
- ② 学生活動の展開による地域活性化支援
 - 十勝ジングスカン会議
 - ちくだいらんぷプロジェクト
(地方創生・地域活性化、おびひろ動物園活性化、文化・スポーツ)
 - 学生の地域理解の向上と自主性の獲得を目的とした学習環境の整備
(キャリア教育、十勝旅、経営者と「ガチで」学ぶ交流会×勉強会、とかち学)

令和2年度以降の方向性

- ★ 企業や関係機関・団体などとの関係の拡大
- ★ 将来の「関係人口」の育成
- ★ 想いやアイデアを形にするスキルの向上

Ⅲ 若者の地元定着と地域課題解決の促進

■ 令和2年度の取り組み

学生と地域がつながるまちづくり支援事業

目的

学生が十勝について学び、関心を高める実学教育・キャリア教育の充実や、学生による自主的なまちづくり活動の支援に取り組み、在学中から卒業後までを見据えた学生と地域とのつながりを強化することを目的とする。

関係人口候補化プログラム

学生が十勝について学び、理解を深めることで、地域への興味や関わりを持ち、自主的に十勝とつながるきっかけづくりを目指す

① 十勝について学ぶ地域連携型授業の実施

■ とかち学

② 現場を深く知る課外教育の実施

■ 十勝旅

■ 経営者とガチで学ぶ交流会×勉強会

③ 学生と十勝をつなぐプログラム【新規】

■ ちくだいスタートアップ体験プログラム

アクション支援プログラム

学生が企画・実施するまちづくり活動を支援することで、地域愛の醸成や新たな視点からの地域活性化を図る

① 企画運営の体験機会の提供

■ 十勝ジンギスカン会議

② 地域活性化に向けた自主的活動の促進

■ ちくだいらんぷプロジェクト

③ 地域産業の活性化

■ 学生と地域企業の共同研究

Ⅲ 若者の地元定着と地域課題解決の促進

関係人口候補化プログラム

(令和2年度実施事業)

① 十勝について学ぶ地域連携型授業の実施

- とがち学 十勝の歴史、文化、自然、産業、地方創生などについて、行政、企業、地域団体等から講師を招き、現状や課題、将来展望について学ぶ。
- キャリア教育・全学農畜産実習 十勝の特色や帯広畜産大学の歴史などの理解を深めるほか、実際に地域で活動している学生の話聞く授業を実施し、十勝について理解を深める。

② 現場を深く知る課外教育の実施

- 十勝旅 北海道中小企業家同友会とがち支部と連携し、農畜産物の生産から加工まで一連の現場を巡り、農業・企業経営者の取り組みや思いを知り、理解を深める。
- 経営者とガチで学ぶ交流会×勉強会 北海道中小企業家同友会とがち支部の勉強会において、学生と経営者が同じテーマで協議や交流を行う。

③ 学生と十勝をつなぐプログラムの開催【新規】

- ちくだいスタートアップ体験プログラム とがち財団と連携し、現役社会人による起業教育プログラムを実施する。ビジネスの基礎知識やプランニングを学びながら、学生と社会人による新たなコミュニティー創出を目指す。

Ⅲ 若者の地元定着と地域課題解決の促進

アクション支援プログラム

(令和2年度実施事業)

① 企画運営の体験機会の提供

■十勝ジギスカン会議

地域住民に親しまれている大規模イベント「十勝ジギスカン会議」への参画を通じ、事業の企画運営に関する経験やスキルを高める。

② 地域活性化に向けた自主的活動の促進

■ちくだいらんぷいプロジェクト

地方創生・地域活性化、動物園活性化、文化・スポーツの3コースで学生のアイデア実現を資金面・内容面からサポートし、学生の自主的なまちづくり活動を促進する。

③ 地域産業の活性化支援

■学生と地域企業の共同研究

関係人口候補化プログラムなどを通じて把握した地元企業の課題やニーズを踏まえ、教員の指導のもと、学生が主体的に提案する形で共同研究を実施する。

※①、②については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため事業実施を中止。

IV 今年度の取り組み

3大学の経営統合に向けた動きについて情報を共有しながら、以下のテーマについて意見交換、必要な取り組みを検討、実施する。

(1) 地域ぐるみの人材育成

① 食品安全管理のスペシャリスト養成【協議終了】

畜大の大学院カリキュラムの継続実施、3大学連携のリカレント教育等としての実施検討により、地域の教育機能が維持・拡充されていくことから、部会による協議終了。

② 地域連携による国際水準の獣医師養成【協議終了】

令和元年12月に畜大・北大の共同獣医学課程が、欧州獣医学教育機関協会の国際認証の取得を受けて、部会による協議終了。

③ アグリ・フードビジネスのマネジメント人材養成【継続実施】

フードバレーとかち人材育成事業など、既存の取組みに関して情報共有、今後の展開について検討。

IV 今年度の取り組み

(2) 人材活躍の場・環境づくり

- ① 若者の地元定着と地域課題解決の促進
- ② 人生100年時代を見据えた生涯学習の支援
- ③ 地域産業の活性化

学生と地域がつながるまちづくり支援事業

- 関係人口候補化プログラム
 - とかち学
 - キャリア教育・全学農畜産実習
 - 十勝旅
 - 経営者とガチで学ぶ交流会×勉強会
 - ちくだいスタートアップ体験プログラム
- アクション支援プログラム
 - 十勝シンギスカン会議（※今年度中止）
 - ちくだいらんぷいプロジェクト
 - 学生と地域企業の共同研究



※ちくだいスタートアップ体験プログラム（十勝Z団 HP）